

令和6年度

学校運営協議会



浜松市立蒲小学校

令和6年9月19日(木) 13:00~14:30

次 第

令和6年9月19日
13:00～14:30
ポプラルーム

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長の選出
- 4 前回会議録確認
- 5 報告
- 6 熟議
(1) 地域愛を育むために

(2) 子供たちの安全を守るために

7 連絡

- 次回 令和7年 1月 29日（水）13:00～14:45
会場：ポプラルーム
- 次回の熟議内容
 - ・学校関係者評価について
 - ・学校運営協議会自己評価について
- 次回の議長について

閉会

蒲小学校運営協議会

< 委員 >

稲垣 邦圓	いながき ほうえん	元蒲小学校校長
原 利夫	はら としお	蒲地区自治会連合会長
長谷川 由美子	はせがわ ゆみこ	主任児童委員
宮下 まゆみ	みやした まゆみ	主任児童委員
名倉 善郎	なぐら よしろう	蒲地区民生委員児童委員協議会長
早川 奈穂子	はやかわ なほこ	R 6 年度 P T A 会長
仲村 ひろみ	なかむら ひろみ	R 5 年度 P T A 会長
名波 久子	ななみ ひさこ	学校支援コーディネーター

< オブザーバー >

平野 悦司	ひらの えつじ	蒲協働センター所長
-------	---------	-----------

< 学校 >

内山 圭子	うちやま けいこ	校長
中島 利美	なかじま としみ	教頭
磯部 真代	いそべ まさよ	教頭
北村 宏樹	きたむら ひろき	主幹教諭
磯部 陽子	いそべ ようこ	コミュニティスクールディレクター

< 教育委員会 >

鈴木 陽子	すずき ようこ	教育総務課 指導主事
-------	---------	------------

学校運営協議会 年間計画

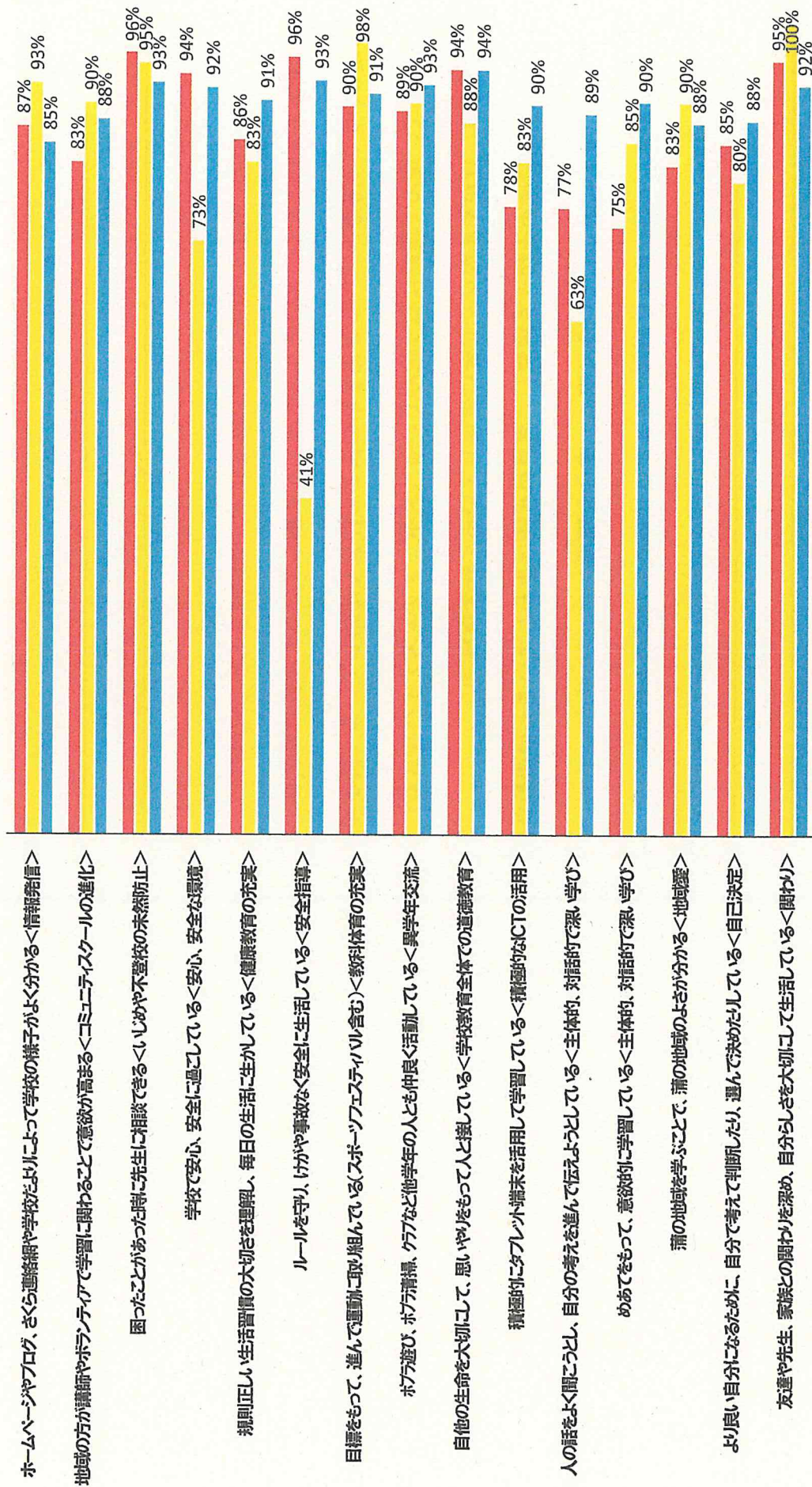
	日 時	内 容
第 1 回	5 月 2 日(木) 10:00~11:50	・ 学校運営の基本方針 ・ 夢育やらまいか事業について
第 2 回	6 月 2 1 日(水) 13:15~15:00	・ 地域愛を育むために ・ 子供たちの安全を守るために
第 3 回	9 月 1 9 日(木) 13:00~14:45	・ 地域愛を育むために ・ 子供たちの安全を守るために
第 4 回	1 月 2 9 日(水) 13:00~14:45	・ 学校関係者評価について ・ 学校運営協議会自己評価

学校評価

	児童	教師	保護者
1	92%	100%	95%
2	88%	80%	85%
3	88%	90%	83%
4	90%	85%	75%
5	89%	63%	77%
6	90%	83%	78%
7	94%	88%	94%
8	93%	90%	89%
9	91%	98%	90%
10	93%	41%	96%
11	91%	83%	86%
12	92%	73%	94%
13	93%	95%	96%
14	88%	90%	83%
15	85%	93%	87%

学校評価

■保護者 ■教師 ■児童



生活のやくそく



登
下
校

- 交通のきまりを守り、決められた通学路を歩いて登下校する。
- 7:30~7:50の間に、学校に到着できるように登校する。
- 登下校中は、原則としてヘルメットをかぶる。
(熱中症対策・体調維持のため帽子可とする期間を設ける。)
- 登校中や登校後は、忘れ物を取りに家に戻らない。
- 遅刻をした場合は、職員室に立ち寄り、登校したことを連絡してから、教室に行く。
- 下校時刻(下校開始の時刻)以降 特別な用事のない子は、すみやかに帰る。
- 旗振りの方や登下校の見守りをしてくださる地域の方に、明るいあいさつをする。

校
内
生
活

【服装・持ち物】

- 学びの場にふさわしい服装(華美にならない、動きやすいなど)を心がける。
- 校内では、名札をつける。(一番上の服の左胸)
- 学習に必要なものは、持ってこない。
- 授業では、鉛筆・赤青鉛筆を用いることを基本とする。
- 鉛筆や消しゴムなどの学習用具、図画工作科や生活科等の材料の貸し借りはせず、自分の持ち物で学習する。
- 体育科の活動は、体操服で行うことを基本とする。上着等の着用については、動きやすく、体温調節のしやすいもの、けがの危険性がないものにおいて可能とする。
(例えば、ネックウォーマーを着用しない。上着はフードの付いていないものが望ましい。)

【休み時間・昼休みの過ごし方】

- 授業終了後は、授業で使用したものを片付けてから休み時間にします。
- 授業が始まる1分前には、席について黙想を始める。
- 一輪車に乗るときは、ヘルメットをかぶる。
- ボール遊びは運動場で行う。ただし、ボールをけて遊ばない。
- 総合遊具や中庭では、鬼ごっこやボール遊びをしない。
- ブランコの立ち乗りはしない。
- 昇降口前や駐車場など、舗装された場所では遊ばない。

校内生活	【校内での過ごし方】 ○ 自分からすすんで、あいさつをする。 ○ 廊下・階段は、人に迷惑をかけないように、右側を静かに歩く。 ○ 雨の日は、校舎内で静かに過ごす。 ○ 相手と呼ぶときは、「～さん」をつけて呼び合う。 【給食後】 ○ 給食・片付けが終わっても、12:45（昼休み開始の音楽が流れる）までは教室の外へ出ない。 【職員室への出入り】 ○ 職員室に入室する時には、まず、ヘルメットやランドセルを廊下に整頓して置く。 【体育館・特別教室】 ○ 体育館・特別教室への行き帰りには並んで移動し、教師の許可なしでは入らない。 ○ 準備室や器具庫には、児童だけでは入らない。 ○ 体育館ピロティと渡り廊下へは、土足で上がらない。 ○ 原則として、体育館通路・校舎1階西側通路より西側（駐車場側）には入らない。
校外生活	○ 子供同士の外出は、隣の小学校区までとする。ただし、4年生以上は、公共施設（科学館・美術館・博物館・図書館・協働センターなど）には、保護者の許可を得れば行ってもよい。 ○ 大人と一緒に、パチンコ店、オートレース場、インターネットカフェなどには入らない。 ○ 子供だけで、カラオケボックス、飲食店（喫茶店）、ゲームセンター、ボウリング場、映画館、複合型アミューズメント施設などには入らない。 ○ 自転車の使用については保護者の判断に委ねる。 ○ 自転車に乗るときは、交通ルールをしっかりと守り、必ずヘルメットをかぶる。 ○ 学校内では、自転車から降りて引き、朝礼台付近など所定の位置に整頓して置く。 ○ 学校では、お菓子・ジュース類の飲食をしない。 （以上 PTA校外生活部「校外生活のやくそく」より）

第3次浜松市教育総合計画
はままつ未来人づくりプラン
○未来創造による人づくり
○市民協働による人づくり

- ・自分らしさを大切にすること
- ・夢と希望を持ち続ける子供
- ・これからの社会を生き抜くための
資質・能力をはぐくむ子供

咲かそう 蒲桜
～やさしさ やる気 夢 いっぱい～

中学校区で目指す子供像

- ・人が好き
- ・学校が好き
- ・この街が好き

目指す子供像

- ・地域に出て地域に学ぶことで地域愛をもった子供
- ・自己決定により、より良い自分を創造できる子供
- ・関わりを深め、多様性を認め、自分らしく輝ける子供

一人の学びを 友達につなぐ

今日の学びを 明日へつなぐ
教室での学びを 地域につなぐ
学校での学びを 未来へつなぐ

目指す学校像

- ・キャリア教育を軸とした学校
- ・発達支援教育の理念を根幹に据えた学校
- ・ONE TEAM の学校

目指す教師像

- ・教育に対する情熱と専門性をもち、児童の良さを引き出す教師
- ・児童や保護者、地域の願いを理解し、信頼される教師
- ・組織の一員として、責任感や協調性を有し、互いに支え合い高め合う教師

知

『学び合い』

本気で学習する子を育てます。

- ・キャリア教育の推進
- ・主体的、対話的で深い学び
- ・蒲スタンダードの定着
- ・教科担任制による質の高い学び
- ・効果的なICT活用
- ・学びのフィールドの広がり
- ・家庭との連携の中での学習

徳

『認め合い』

本気で相手を思いやる子を
育てます。

- ・考え、議論する道徳
- ・学校教育全体での道徳教育
- ・挨拶の励行、いいこと見付け
- ・異学年交流の充実
- ポブラ遊び ポブラ清掃

『高め合い』

体

本気で体を動かす子を育てます。

- ・教科体育の充実
- ・健康教育の充実
- 学校保健委員会（こころの日）
- ・危機管理能力の向上
- 安全指導（生活 交通 災害）

“5つの愛宣言”
蒲小
ウェルビーイング向上

『開き合い』

居心地の良い環境を作ります。

- ・安心安全な環境
- ・いじめや不登校の未然防止と早期対応
- ・子供理解
情報の共有化
組織的な対応
個に応じた対応策

『結び合い』

家庭や地域と共に、
学ぶ学校を作ります。

- ・幼小中連携
- ・丸塚中学校区小中一貫教育
- ・コミュニティスクールの進化
（学校運営協議会との連携）
- ・情報共有
ホームページ・ブログ
・さくら連絡網

社会に開かれた教育課程の
実現を目指して

人とかかわる力
（人間関係能力）

自分を伸ばす力
（自己理解・管理能力）

考えて取り組む力
（課題対応能力）

未来につなげる力
（キャリアプランニング能力）

温かく潤いのある環境づくりの推進（ザ・リノベーション蒲）

発達支援教育の視点を踏まえた学校経営

- 学校風土、学級風土の向上
- 授業改善の方向の明確化
- 発達支援チームの組織化
- 合理的配慮に関するツール活用

第3次浜松市教育総合計画
はままつ未来人づくりプラン

○未来創造による人づくり

○市民協働による人づくり

- ・自分らしさを大切にする子供
- ・夢と希望を持ち続ける子供
- ・これからの社会を生き抜くための
資質・能力をはぐむ子供

味かそう 蒲桜

～やさしさ やる気 夢 いっぱい～

目指す子供像

- ・地域に出て地域に学ぶことで地域愛をもった子供
- ・自己決定により、より良い自分を創造できる子供
- ・関わりを深め、多様性を認め、自分らしく輝ける子供

中学校区で目指す子供像

- ・人が好き
- ・学校が好き
- ・この街が好き

一人の学びを 友達につなぐ
今日の学びを 明日へつなぐ
教室での学びを 地域につなぐ
学校での学びを 未来へつなぐ

目指す学校像

- ・キャリア教育を軸とした学校
- ・発達支援教育の理念を根幹に据えた学校
- ・ONE TEAM の学校

目指す教師像

- ・教育に対する情熱と専門性を持ち、児童の良さを引き出す教師
- ・児童や保護者、地域の願いを理解し、信頼される教師
- ・組織の一員として、責任感や協調性を有し、互いに支え合い高め合う教師

知

『学び合い』

本気で学習する子を育てます。

- ・主体的、対話的で深い学び
- ・教科担任制による質の高い学び
- ・積極的な ICT の活用

徳

『認め合い』

本気で相手を思いやる子を
育てます。

- ・学校教育全体での道德教育
- ・異学年交流の充実
(ポブラ遊び ポブラ清掃等)

『高め合い』

体

心身共にたくましい子を育てます。

- ・教科体育の充実
- ・健康教育の充実
- ・安全指導の徹底

“5つの愛宣言”
蒲小
ウェルビーイング向上

『開き合い』

居心地の良い環境を作ります。

- ・安心安全な環境・居場所づくり
- ・いじめや不登校の未然防止
と早期対応

『結び合い』

家庭や地域と共に、
学ぶ学校を作ります。

- ・コミュニティスクールの進化
(学校運営協議会との連携)
- ・情報発信
(ホームページ、ブログ
さくら連絡網等)

社会に開かれた教育課程の
実現を目指して

人とかかわる力
(人間関係能力)

自分を伸ばす力
(自己理解・管理能力)

考えて取り組む力
(課題対応能力)

未来につなげる力
(キャリアプランニング能力)

温かく潤いのある環境づくりの推進(ザ・リノベーション蒲)

発達支援教育の視点を踏まえた学校経営

- 学校風土、学級風土の向上
- 授業改善の方向の明確化
- 発達支援チームの組織化
- 合理的配慮に関するツール活用